

議事録・議事概要

審議会等の名称	阿見町地域包括支援センター運営協議会 阿見町地域密着型サービス運営委員会
開催日時	令和 5 年 7 月 7 日（金）午後 2 時から
開催場所	本庁舎 3 階 301 会議室
議 題	<p>第一部</p> <p>阿見町地域包括支援センター運営協議会</p> <p>(1) 阿見町地域包括支援センターの運営状況について</p> <p>(2) 地域包括支援センターの事業評価について</p> <p>(3) 予防給付マネジメント業務の委託について</p> <p>第二部</p> <p>阿見町地域密着型サービス運営委員会</p> <p>(1) 令和 4 年度地域密着型サービスの現況等，令和 5 年度の事業について</p> <p>(2) 町内の地域密着型サービス事業所の状況</p> <p>(3) その他</p>
公開・非公開の別	公開

議事結果	<p>第一部</p> <p>(事務局) 令和4年度阿見町地域包括支援センター事業実績報告、収支決算報告について</p> <p>(議長) 事務局の説明について何か質問等はあるか</p> <p>(委員) P.1 新規認定者数が令和3年度に比べて随分増えているが、増えている要因はどうとらえているか。今後も増加傾向の見込みならば、予算も対応して見込まなければと思うが、原因が何かあるのかと思ってお尋ねする。</p> <p>(事務局) 今回、新規認定者数(要支援1, 2、事業対象者数)が倍に増えている。コロナ禍にあってサービスの利用控えがあったところに使ってみようかと思われる方が増えてきたと思われるところで、新型コロナウイルス感染症により、生活が制限されて身体機能が低下した影響があるのではないかと推察するが、町として分析等は行っていない。</p> <p>(議長) サービスについて周知ができていることが、サービス利用につながっているのかもしれない。 認定者数は、他の市町村に比較してどのような状況であるか。</p> <p>(事務局) 人口5万人に対して、高齢者が約13,000人、高齢化率28%。65歳以上の人の内、認定者は15%程度である。手元資料が令和元年の資料であるが、阿見町が15.3%、茨城県が16.4%、全国が18.5%、土浦市が17.4%、稲敷市が16.1%、龍ヶ崎市が15.2%である。他の市町村と比べて認定率は高くない。</p> <p>(議長) 阿見町の高齢化は待ったなしであるという資料を以前の会議で見た。相談が多くなるなどの影響が考えられるので、事業の規模感をどうするのかという議論も必要と考える。</p> <p>(議長) P.3 地域ケア会議で協議した内容を政策へ提言したとのことだが、どちらへ提出して、検討の状況はどのようなか。</p> <p>(事務局) 町長宛てという形である。具体的には、令和6年度からが計画期間である「阿見町長寿福祉計画・第9期介護保険事業計画」に反映させる。</p> <p>(議長) P.7 認知症疾患医療センターが宮本病院ということである。茨城県立医療大学付属病院は認知症外来がある。一般町民向</p>
------	--

けに開始した認知症講演会の講師を医療大学附属病院の医師が務めたということだが、もっと密に連携を進めていけるとよい。筑波大学精神科の医師も4月に着任したので、筑波大学との連携も期待できる。

(委員) P.4 令和4年度は令和3年度と比較して虐待と判断したケースの件数が減っているが、虐待の種類はわからないが、減った要因は何か。

(包括) 虐待を受けたケースは少なくなっているが、令和4年度に関しては、新規通報の内訳が夫婦間で夫が手を出して、妻がやり返したというような内容の虐待通報票が多く、1組で2枚の虐待通報票が送られるというケースが多かった。虐待ではないと判断した11件のケースもそういった夫婦のケースが多かった。虐待件数が減っていることには、種別も影響していると考ええる。

(議長) 以前の会議で、委員からケアマネが足りていない現状があるとの指摘があった。養成等、町ではどう考えているか、サポートをしてほしいとの話だった。ケアマネの人数を増やす方策というのは何かあるか。

(包括) 資格なので、物理的にどういうふうを増やすかというのは具体的にはないが、質の向上等、P.2 ケアマネ会を通じてケアマネのバックアップはしている。令和4年度は、主任ケアマネを受ける為に必要な4回の法定外研修の内、1回をケアマネ会の研修で行った。町外のケアマネが受講できるようにすると、阿見町の利用者のケアマネになってくれるケアマネも増えるかもしれないので、そのようなことも検討している。

(議長) 充足はしていない状況ですので、ぜひ支援を厚くしてください。

(委員) P.4 日常生活自立支援事業の件数が倍増しており、今後も事業を活用する人が増えてくる可能性がある。家族が近くに住んでいる等、地域性もあると思うが、今後、町の傾向はどのように見込んでいるのか。

(包括) 認知症の人が増加することと、成年後見制度の利用支援法の見直しから日常生活自立支援事業の活用が増えることが予想される。併せて成年後見制度の充実も必須であると考ええる。

(議長) 他に質問がなければ、次に進みます。

(事務局) 地域包括支援センターの事業評価指標について説明

(議長) 事務局の説明について何か質問等はあるか。

(委員) P.16 前回の会議でもどこかで連絡相談ができる体制をとった方がよいだろうと提案がなされた。役場や包括でできないのであれば、他の事業所等に委託する等して体制づくりを行ってもよいという提案がなされていたが、それについて論議なされたか。

(事務局) 他市町村の実施方法を調査することを町でも考えているが、具体的には進んでいない状況。令和5年度には取り組みたい。

(委員) コネクションが何も無いような人が、支援センターのパンフレットを見て、ここだったら相談できるかなと思うこともあると思う。できれば早急に対策を考え、対応してください。

(議長) 改善できているところは多々あってよいと思うが、C評価のところはなかなか改善できないようだ。主に人員を増やすところや事業の規模の部分が難しいようだが、人員を増やす等の動きはあるのか。

(事務局) 包括業務は町から社会福祉協議会に委託している。3職種の9人を確保できていない理由に、日常生活自立支援事業に人員が割かれていることがあったが、社協でも人数を増やす計画で採用を進めているところ。きちんと専門職を確保していきたい。

(議長) ぜひ早めに対応していただきたいと思う。

(委員) P.19 48番のセルフケアマネジメントについて、サービス利用者と相談者に健康手帳を配布しているが、サービス利用者や相談者は、セルフケアマネジメント能力の高い方と考えられる。そこではなく、そこまで行きつかないような人への働きかけはどのように考えているのか。

(包括) できるところからということでモデル的に配布を行い始めた。令和4年度はコロナ禍で集まれないなどがあったので、そのような場面でも配布できていければよいかと思っている。

(議長) 他に質問がなければ次に進みます。

	<p>(包括) 令和 5 年度業務委託契約事業所について説明</p> <p>(議長) 追加で業務委託契約を結んだ町外事業所について意見はあるか。</p> <p>(委員の意見なし)</p> <p>(議長) なければ終了とする。</p> <p>以上で、終了。</p> <p>第二部</p> <p>(事務局) 令和 4 年度地域密着型サービスの現況等、令和 5 年度の事業について、町内の地域密着型サービス事業所の状況を説明。</p> <p>(議長) この件に関して質問はいかがでしょうか。</p> <p>(委員の意見なし)</p> <p>(議長) 質疑はないか。なければ終了とする。</p> <p>以上で、終了。</p>
--	--